

教育学部オススメ留学プログラム

2026年度

九州大学では短期留学プログラムや中・長期交換留学、オンライン留学、学内の英語スキルアップなどさまざまな国際プログラムを利用できます。自分に合ったプログラムを見つけて参加してみましょう。

国際コース

令和8年度 教育学部国際コース

アジアを中心とした教育・心理分野を国際的・文化的視点で学び、国際的な授業や留学生との交流、海外研修、研究発表を通じて多面的・越境的に活躍できる人材の育成を目指します。プログラムは2年次から開始します。

対象：教育学部2年生

短期留学 ※2026年度は実施未定

Discovering Social Impact in Careers 説明会

米国シリコンバレーで SDGs や社会課題に触れながらキャリアを考える実践型プログラムの説明会。スタンフォード大学・企業・NPO 訪問やワークショップを通じて課題解決力や国際的視野を養います。

場所：米国・VIA(Volunteers in Asia)

学内交流

九州大学 SALC

自主的な英語学習をサポートするための場所です。英会話やイベントに参加できるほか、留学生の友達をつくるきっかけにもなります。平日 12:00-18:00 いつでも利用可能です。

場所：センター1号館1階

費用：無料

短期留学

Overseas Internship

九州大学教育学部の豊富なアジア研究の実績を生かし、文化の違いへの理解力と国際的な視野を育てます。インターンを通じてアジア教育の分野で活躍できる力を身につけます。

対象：九州大学教育学部/大学院人間環境学府教育システム専攻の正規課程の学生で、アジア教育に関心がある者

場所：モンゴル・モンゴル日本人材開発センター、または、ベトナム・ベトナム日本国際学校

留学生サポーター

2026年後期 新入留学生サポーター大募集

留学生の渡日前後のサポートや交流会の企画・運営をするサポーターを募集します。留学生と仲良くなりたい方におすすめです。

対象：九州大学在学学生（研究生・特別聴講学生等を除く）

活動期間：2026年9月中旬～12月31日

言語：日本語・英語（・中国語）

謝金：1時間あたり1100円（総支給額の上限24,200円）

応募締切：2026年7月31日（金）

詳細は [Navigate the Globe](#) へ!

上記の他にも九州大学には数多くのプログラムがあります。

グローバルプロフェッショナル認定制度の登録はお済みですか?

Moodleで今すぐ登録→



令和8年度教育学部国際コース募集要項

令和8年4月
教育学部

1. 国際コースの趣旨・目的

教育学部では国際的視野に立った教育学・心理学の教育・研究の確立を目指し、とくにアジア地域で活躍できる多面的・越境的視野の豊かな人材の育成を目的としています。

- ①教育学部の国際コースでは、海外、とくにアジア諸国における教育、心理、発達等の特徴と問題点を文化的多様性の観点から学ぶカリキュラムを履修します。一部の授業は英語を主要言語として行われます。
- ②海外から教育学部に留学する外国人学生と交流しながら、ともに学びます。
- ③海外フィールドワーク、海外インターンシップまたは海外コースワークに参加して、海外協定校の学生、教員、研究者らと交流しながら学びます。
- ④英語による卒業論文作成、国際学会等における研究成果の発表を目指します。

2. 教育指導体制

教育学部の学生であれば、誰でも国際コースのカリキュラムの履修を希望できます。

第2学年より国際コースのカリキュラムを履修しながら、海外フィールドワーク、海外インターンシップまたは海外コースワークに参加する準備を進めます。国際コースに在籍していても、コース外の学生と同様、教育学部が提供する多くの授業科目を履修することが可能です。

第3学年になると、通常の学生と同様に、国際コースを担当する教員の研究室を決め、その教員の研究室に所属しながら、海外フィールドワーク、海外インターンシップまたは海外コースワークに参加すると共に、指導教員のもとで国際社会や文化的多様性等を視野に入れた研究課題について調査研究を始めます。

第4学年では通常の学生と同様に卒業論文を作成しますが、教育心理学系では英語の論文、教育学系は国際的テーマでの日本語または英語による論文を作成します。また、学部在学中での国際学会等における研究成果の発表も支援されます。

3. 申請資格・人数

(1) 対象学生 教育学部2年生

- ・2年生への進級要件(基幹教育科目等の単位)を満たしていること。
- ・GPA 2.5 以上

(2) 人数 3名程度

4. 国際コース科目に関わる海外旅費等の補助

国際コース学生には、国際コースが提供する海外フィールドワーク(Overseas Fieldwork I、II: 当面開催未定)、海外インターンシップ(Overseas Internship I、II)、海外コースワーク(Overseas Coursework I、II)、教育学部が主催する国際交流に関連する科目等において渡航す

る際の旅費等の補助が優先的に選考され、支援されます。

※海外フィールドワーク等で、個人が負担する旅費などの諸費用は、補助を受けた場合、一回につき8万円程度になります。但し、全科目で補助を得ることはできません。

※各年度の計画に基づき、外部資金等の申請を行っていますので、年度毎、科目毎に支援される内容は異なります。また、同一年度1回支給などの制限などもあります。

5. 提出書類

- ① 国際コース希望届 ※教育学部 HP からダウンロードすること
- ② 希望理由書(手書き不可) ※教育学部 HP からダウンロードすること
- ③ 語学証明書等(コピー可)

6. 書類提出先

九州大学人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府・教育学部担当)

7. 国際コース配属決定までの流れ

注)2年前期「外書講読」受講の説明、登録をしていない場合でも「教育学文献講読」を事後に読み替え可能とします。

4月22日(水)～5月8日(金):希望届等書類の提出期間

5月中旬～5月下旬:選考期間(必要な場合は面接を行う)

6月下旬:国際コース配属学生の決定

8. 留意事項

国際コースの学生になっても通常の学生と同じスケジュールで進みます。進級や系選択のための科目取得要件は同じです。専攻科目(指導教員)の決定の手続きも同様ですが、国際コースの学生は、希望する教員に国際コースで卒業研究を行い、論文を作成することを申し出て、研究計画について相談することが必要です。

国際コースから通常のコースに戻る際には、2年次で取得した「外書講読」が「教育学文献講読」に読み替えることができます。

学部卒業に際しては学位記(卒業証書)の他、国際コース修了証明書を授与します。

【問い合わせ先】

***教務委員会(国際コース担当)**

木村教授(kimura.takuya.329@m.kyuhus-u.ac.jp)

杉山准教授(sugiyama.takashi.294@m.kyushu-u.ac.jp)

***九州大学人文社会科学系事務部学務課(教育学部担当)**

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

E-mail: jbkkyomu1ed@jimu.kyushu-u.ac.jp

TEL: 092-802-6362 FAX: 092-802-6396

「Overseas Internship in モンゴル 2026 夏期」 募集要項

1. 趣 旨

九州大学教育学部のアジア圏を中心とする国際的研究と教育の実績を活用し、文化的多様性への感受性と歴史的社会的文脈の理解力を育み、アジア教育のエキスパート（教師、教育行政官、研究者）の養成が、本取組による人材養成像である。

2. 応募資格、募集人数

九州大学教育学部／大学院人間環境学府教育システム専攻の正規課程の学生で、アジア教育に関心があるもの。ただし、モンゴル日本人材開発センターの方で選考がある。

3. 派遣先大学及び派遣先機関

【モンゴル・ウランバートル】モンゴル日本人材開発センター（教育学部協定先、MOU 締結済）

4. 日 程

8月3日(月)-8月14日(金)、8月24日(月)-9月4日(金)、9月14日(月)-9月25日(金)、のいずれか。

5. 概 要

モンゴル日本人材開発センター（以下、「日本センター」）は、JICA および国際交流基金の支援のもと、モンゴルにおける日本の総合的な情報発信拠点として、モンゴルの市民向けにビジネスセミナー、日本語教育、日本の文化紹介、日本留学に関する情報提供をはじめ、種々の日本関連イベントを実施しています。日本センターではグローバル社会で活躍を希望する大学生の就業体験を目的として、日本の大学生のインターン受入事業を行っています。日本センターにおける就業体験は、インターン生が国際協力の仕事への理解を深め、かつ異文化体験を通じて国際性を育む機会となるものです。なお日本センターには5名の日本人専門家が JICA 及び国際交流基金から派遣されており、またモンゴル人職員の大半が日本語で業務を行っているため、日本語で就業体験が可能です。

6. 受け入れ手続き

学生の履歴書（様式自由）・志望理由書（日本センター指定様式）、参加申込書（教育学部指定様式）、海外渡航届（大学指定様式）を、5月11日（月）17時までに教育学部学務窓口まで提出ください。窓口教員経由で日本センターに締め切り（5月15日（金））までに提出し、その後、面接などの手続きを経た上で、日本センターで受入の可否が決定されます。日本センターと大学間でインターンシップ協定を締結のうえ、受入を実施します。

【全体の流れ】

1. 日本センターに以下の書類を提出

-履歴書（日本語、英語いずれも可）※書式自由

-志望動機（日本センター指定様式）：希望する配属課、オプションサポート追加可否をご記入ください。配属課の希望がない場合はその旨を記載ください

2. 5月下旬 日本センター担当課長とオンライン面接（10分程度/名）

3. 6月初旬に面接結果のお知らせ、誓約書の記入、送付をもってインターンシップ受け入れ決定

4. 8月～順次インターンシップ開始

7. 受け入れプログラム例（実際のプログラムは現地での状況が優先されます）

(1) オリエンテーション

日本人専門家およびセンター職員による下記オリエンテーションの実施

1 日本センター事業紹介 2 安全講習 3 モンゴル文化紹介 4 初歩モンゴル語講座

(2) ビジネス課・日本語課・図書交流課における就業体験

インターン生の希望・関心に基づく各課での就業体験プログラム

1 ビジネス課 :ビジネスコースのセミナー聴講、企業訪問への随行

2 日本語課 :日本語授業の聴講・参加、教材作成支援

3 図書交流課 :図書室業務、日本語学習者との交流イベント

その他にも日本センターで実施される各種イベントの機会にはインターン生に積極的に参加していただきます。詳しくは、添付の PPT スライドを参照のこと。

8. 費用

1 名につき 60,000 円 (受入プログラム開発費として) ※この費用には航空賃・現地滞在費用・海外旅行保険料、現地での PCR 検査代金は含まれません。その他の経費は、空港ピックアップ 10,000 円、帰国時の空港お送り 10,000 円、moncozy 宿舎(キッチン・リビングルーム共用。トイレ、シャワー付き。): 33,000 円~42,000 円/2 週間。土日モンゴル体験は別途費用が必要。

9. その他

本研修は、現地で学生自身で行うものであることを理解して、申し込んでください(要望があれば、教員による往路の引率を検討しますが、基本、一人で海外渡航できるものを参加の条件とします)。飛行機予約、PCR 検査等は学生ご自身で行っていただきます(昨年実績:航空券往復 14 万程度)。また、現地で、大学や現地関係者の指示や約束に従わずに起こった事件・事故に関しては、一切責任を負うことができません。

10. 単位認定など

本事業「海外インターンシップ」は「Overseas Internship I・II」として単位認定を行う。1 年生が参加した場合の単位認定はないものとする。

11. 奨学金など

審査や諸条件により、九大基金(8 万円)の奨学金が本事業に適応される可能性がある。詳しくは、申込後に案内する。ただし、同一年度、および、2 年連続の受給はできない。

12. 申し込み期限と申込先

申し込みを希望する場合、保護者へ学部からの案内を見せ、十分に実施の趣旨とリスクを認識していただいた上で、申請書と誓約書を添えて、5 月 11 日(月)17 時(厳守)までに、必要書類を教育学部学務窓口まで提出ください。その上で、日本センターが指定する申し込み口に、窓口教員が 5 月 15 日(金)までに提出します。

13. 問い合わせ先

不明な点があれば、問い合わせください。

竹熊 尚夫 教授(教育学部 国際教育環境学講座 比較・国際教育第二研究室)

takekuma.hisao.847@m.kyushu-u.ac.jp

木村 拓也 教授(教育学部 教育社会計画学講座 教育社会学研究室)

kimura.takuya.329@m.kyushu-u.ac.jp

教育学部 Overseas Internship in モンゴル 参加申請書

教育学部長 殿

指導教員氏名

学生番号

学生氏名

携帯電話番号

E-mail アドレス (PC)

申請にあたり、下記の質問に回答してください。

回答に番号がある場合は、当てはまる方に丸をつけてください。

解答欄が括弧の場合はそこに記入してください。

1. パスポートは、1. 持っている 2. 持っていない

2. パスポート番号 ()

3. 学研災に、1. 加入している 2. 加入していない 3. わからない

* 3. の質問で、2と3と回答した人には、学研災に加入することとする。

* 全員、学研災の海外留学保険に加入を必須とする。(緊急搬送の契約があることが条件とする。)

4. 上記の保険加入について、1. 同意する 2. 同意しない

5. 教育学フィールド研究入門を、1. 履修している 2. 履修していない 3. 履修済みである

6. 事故等あった際に連絡する家族等の氏名と電話番号を書きなさい。

氏名： (続柄：) (電話番号：)

「Overseas Internship in ベトナム 2026」 募集要項

1. 趣 旨

九州大学教育学部のアジア圏を中心とする国際的研究と教育の実績を活用し、文化的多様性への感受性と歴史的社会的文脈の理解力を育み、アジア教育のエキスパート（教師、教育行政官、研究者）の養成が、本取組による人材養成像である。

2. 応募資格、募集人数

九州大学教育学部／大学院人間環境学府教育システム専攻の正規課程の学生で、アジア教育に関心があるもの。2名程度を募集します。

3. 派遣先大学及び派遣先機関

【ベトナム・ハノイ】ベトナム日本国際学校（教育学部協定先、インターンシップ協定締結済）

4. 日 程

8月9日(日)－8月25日(火) 16泊17日(予定)

5. 概 要

ベトナム日本国際学校（JIS）は、ベトナムに日本式の教育を導入して注目されている学校です。就学前教育から、高校段階までの教育課程をもち、その中では、日本の教育課程を導入するほか、ベトナムの教育課程、そして、ケンブリッジ・教育プログラムも導入している国際学校です。教員は約半数が日本人で、その他に、ベトナム人教員、海外からの教員（主にケンブリッジ課程を担当）によって構成され、ベトナム人の国際的人材の育成を目指し、日本の大学や、海外の大学への進学を目指しています。日本式の教育をベトナムに導入することを目指して創設されたこの学園の理事長はベトナムの水産大臣を務めた方で、九州大学の農学部教員とも交流があり、学生交流を行っています。創設の中核であった、中央大学の他、現在、多くの日本の高校や大学と連携を持ち、教員には九州大学工学部出身の教員もおり、九州大学の教育学部とのインターンシップの連携協定を結んでいます。

6. 受け入れ手続き

学生の履歴書・志望理由書を期日までに提出ください。その後、受入の可否を決定いたします。JIS学校と大学とのインターンシップ協定に基づき、業務内容や受け入れ状況等を確認のうえ、受入を実施します。

7. 受け入れプログラム

4月7日：インターンシップ説明 4月9日～：個別学生相談 希望調査

5月：学生の決定 6月～7月：学校の紹介、ベトナム文化・生活の学習、海外渡航準備

(1) オリエンテーション：安全講習、ベトナム文化紹介、初歩ベトナム講座

(2) 学校運営・日本語教育・日本文化教育・学生交流における学校・授業運営業務体験

日本語・科目等授業補助：日本語・教科の授業の聴講・参加、教材作成支援

日本文化に関する教育・学生交流支援業務

学校運営業務：学校施設運営や教員との協議、日本語・日本文化に関する交流イベント補助

(3) 関連国際協力現場視察：ベトナム及び日本の国際協力の現場訪問（アポイントおよび日程調整に依ります）

8. 費用

1名につき20,000円（プログラム受入費用として）※この費用には航空賃・現地滞在費用・海外旅行保険料等は含まれません。

9. その他

本研修は、現地で学生自身が行うものであることを理解して、申し込んでください（往路のみ、教員が関与する可能性はありますが、全日程で教員は随行しません）。宿泊はJISの寮を格安で提供してもらいます。送迎は、JISに依頼予定です。生活に関する種々の情報は提供しますが、飛行機予約は教員と相談の上、学生自身で行っていただきます。

10. その他、単位認定など

本事業「海外インターンシップ」は「Overseas Internship I・II」として単位認定を行います。1年生が参加した場合の単位認定はありません。

11. 奨学金など

審査や諸条件により、九大基金（8万円）の奨学金が本事業に適用される可能性があります。詳しくは、申込後に案内します。

12. 申し込み期限と申込先

申し込みを希望する場合、保護者へ学部からの案内を見せ、十分に実施の趣旨とリスクを認識していただいた上で、申請書と志望理由書、誓約書を添えて、5月13日(水)までに、教育学部学務窓口まで提出ください。

13. 問い合わせ先

不明な点があれば、問い合わせください。

竹熊 尚夫 教授（教育学部 国際教育環境学講座 比較・国際教育第二研究室）

takekuma.hisao.847@m.kyushu-u.ac.jp

木村 拓也 教授（教育学部 教育社会計画学講座 教育社会学研究室）

kimura.takuya.329@m.kyushu-u.ac.jp

教育学部 Overseas Internship in Vietnam 2026 参加申請書

教育学部長 殿

指導教員氏名

学生番号

学生氏名

携帯電話番号

E-mail アドレス (PC)

申請にあたり、下記の質問に回答してください。

回答に番号がある場合は、当てはまる方に丸をつけてください。

解答欄が括弧の場合はそこに記入してください。

1. パスポートは、1. 持っている 2. 持っていない

2. パスポート番号 ()

3. 学研災に、1. 加入している 2. 加入していない 3. わからない

* 3. の質問で、2と3と回答した人には、学研災に加入することとする。

* 全員、学研災の海外留学保険に加入を必須とする。(緊急搬送の契約があることが条件とする。)

4. 上記の保険加入について、1. 同意する 2. 同意しない

5. 教育学フィールド研究入門を、1. 履修している 2. 履修していない 3. 履修済みである

6. 事故等あった際に連絡する家族等の氏名と電話番号を書きなさい。

氏名： (続柄：) (電話番号：)

Overseas Internship in Vietnam 2026 志望理由書

教育学部 Overseas internship in Vietnam に参加を志望する理由を書きなさい。
また、ベトナムについて関心があることや見聞きたいことがあればそれも記入ください。定員を超えた申請があった場合、本理由書等により選抜します。

教育学部 年 学生番号 氏名 _____

サンフランシスコ・シリコンバレー研修

Discovering Social Impact in Careers 説明会

2025年4月24日(木) 5限(16:40-18:10) 九州大学イーストゾーン

プログラム Discovering Social Impact in Careers について

Discovering Social Impact in Careers は、グローバルな課題に対するインパクトのあるソリューションとキャリアをどのように調整できるかを探求する機会に焦点を当てたプログラムです。

アジアと米国の多様な人々を集めて、このプログラムは、社会的影響を促進するために必要なツール、フレームワーク、およびネットワークに参加者を誘います。国連の持続可能な開発目標(SDGs)にまとめられたこのプログラムは、インタラクティブなワークショップ、ネットワーキングの機会、リーダーシップコーチングを提供し、グローバルな課題に対するインパクトのあるソリューションとキャリアを一致させます。SDGs ゲームやハズオンワークショップなどの活動を通じて、目的を持ってキャリアパスを設計するための実用的なツールを得ることができます。また、対面のネットワーキングイベントを通じてプロジェクト/イニシアチブを共有する機会もあります。プログラムは、TEDxのようなプレゼンテーションで最高潮に達し、社会的影響を生み出すためのビジョンを共有します。キャリアを加速したり、情熱的なリーダーとつながり、目的を洗練したり、このプログラムはアイデアを実行に移すためのスキルとつながりを提供します。

アメリカ・カリフォルニア州・サンフランシスコにおいて、アジア各国からの参加者と意見を共有しながら、グローバルな課題に対するインパクトのあるソリューションとキャリアをどのように調整できるかを探求することを学びます。具体的には、現実世界の問題に取り組むためにイノベーションを利用している起業家、非営利団体のリーダー、インパクトドリブンな専門家と関わります。スケジュールは確定していませんが、LinkedIn、Nvidia、スタンフォード大学のHasso Plattner Institute of Design(d.school)、Children's Fairyland、Glide Memorial、Delancey Street Foundation、Bridgegood、Project Open Hand など、過去数年間の同じ組織からの訪問および/またはゲストスピーカーがいる予定です。社会における課題に取り組むNPOやチェンジメーカーの話を聞いたり、自分自身がどのように社会に貢献するかを考えることのできる1週間となっています。

高い英語力よりも、英語を使って意見交換をしたり、社会を変えたい!という熱意のある方の参加をお待ちしています。

研修校情報 VIA(Volunteers in Asia)

VIA(Volunteers in Asia)は、アジアとアメリカをつなぐことを目的に設立された非営利団体(NPO)です。1963年の設立当初はスタンフォード大学の学生をアジアに派遣し、異文化理解やボランティア活動を目的とするプログラムを運営していましたが、1977年よりアジアの学生をシリコンバレーに受け入れるプログラムを開始し、様々な社会課題に貢献できる人材育成に取り組んでいます。現在もスタンフォード大学や地域のNPOや企業と協力し、多彩な体験型学習プログラムを提供しています。VIAのプログラムには、日本、中国、香港、台湾、タイ、ミャンマー等アジア各国から優秀な学生が参加しています。

説明会の申し込み方法

下記のQRコードから、Google フォーム経由で、申し込みをして下さい。
当日は、VIAの担当者の方がこられて説明をしていただきます。(使用言語は、主に、英語になります。)



アドレスはこちら <https://forms.gle/Mkc4uAbaBmQvfb9aA>

単位認定について

なお、教育学部の学生は、**Overseas Coursework I・II**の単位として認定されます。

【プログラムの構成】（詳細は、次のページのQRコードのリンク先にあります。）

(7月) プレプログラム

- コースの概要と出発前の準備タスクのレビューを提供するオンラインオリエンテーションセッション。
- 仲間の参加者とつながり、この没入型の社会的影響体験で今後の旅の目標について話し合ってください。

(8月8日) 1日目:到着とオリエンテーションと影響の基礎 - 目的を一致させる&キャリア

- 個人的な価値観、キャリア目標、社会的影響の交差点を探索して、有意義な仕事の基盤を作ります。

(8月9日) 2日目:SDGsの考え方 - グローバルチャレンジの理解

- 国連の持続可能な開発目標(SDGs)に飛び込んで、あなたの情熱とスキルに沿った差し迫った地球規模の問題を特定します。

(8月10日)3日目:目的志向のリーダーシップ - 強み、マインドセット、成長

- 自信を持って目的志向のキャリアに踏み出すために必要な独自のリーダーシップスタイル、強み、考え方の変化を発見してください。

(8月11日) 4日目:ソーシャル・イノベーション・イン・アクション - チェンジメーカーから学ぶ

- 現実世界の問題に取り組むためにイノベーションを利用している起業家、非営利団体のリーダー、インパクトドリブンな専門家と関わります。

8月12日:ネットワーキングの力 - 意味のあるつながりの構築

- 本物のネットワーキングの芸術をマスターして、あなたの成長とインパクトの旅をサポートする強力なプロフェッショナルコミュニティを構築してください。

(8月13日) 6日目:キャリアストーリーテリング&パーソナルピッチ開発

- あなたのスキル、価値観、そして社会変革のためのビジョンを示す説得力のあるキャリアナラティブと個人的なピッチを作成します。
- あなたの組織についてコホートと共有する

(8月14日) 7日目:アクションラボ - JPMCでインパクトキャリアパスをデザインする

- 社会的インパクトのキャリアに移行または前進するための具体的な次のステップを備えた戦略的行動計画を策定します。
- すべてを結びつける - 社会的影響の次のステップ
将来の意図を反映し、設定し、明確さ、自信、目的を持って前進しながら成長を祝いましょう。

(8月15日) 8日目:出発

社会インパクトキャリア探求研修

DISCOVERING SOCIAL IMPACT IN CAREERS

2025年8月8日～15日 @ サンフランシスコ・シリコンバレー



説明会（日本時間）

4月24日（木）16:40 - 18:10

九州大学伊都キャンパス
イーストゾーン

申し込みスケジュール

一次締め切り：5月12日（月）

オンライン面接：5月17日～23日

結果発表：5月24日（土）

二次締め切り：6月9日（月）

オンライン面接：6月17日～20日

結果発表：6月21日（土）

LEARN MORE & APPLY TODAY!

詳細および
お申し込みは、
こちらのURLから



[VIAPROGRAMS.ORG/DSIC](https://viaprograms.org/dsic)

プログラムの概要

- **現場体験**：スタンフォード大学およびシリコンバレーの企業やNPOの訪問を通じて、SDGsへの取り組みについて直に触れる
- **実践的な学び**：様々なワークショップを通じて、デザイン思考等の課題解決のためのスキルやリーダーシップスキルを磨く
- **個人の成長**：自身の価値観や将来へのビジョンを明確にし、社会インパクトリーダーとしての一歩を踏み出す
- **ネットワーキング**：第一線で社会課題に取り組んでいる様々な業界のリーダーと繋がり、新しいキャリアの可能性を模索する

理想的な参加者

本プログラムは、社会にポジティブなインパクトを与えるキャリアを追求したい大学生および35歳以下の若手のリーダーを対象としています。また、高い英語力よりも、英語を使って意見交換をしたり、社会をより良く変えたい！という熱意のある方の参加をお待ちしています！

“—
| 研修の毎日がたくさんの体験に溢れていて、本当にあっという間でした。座学以外にも、ワークショップやフィールドワークなどのコンテンツがあります。心動かされる瞬間がたくさんあり、これからの自分のためになる時間でした。

— 日本からの参加者 —”



@viaprograms | viaprograms.org

本プログラムは1963年よりアメリカとアジアの文化交流と人材育成に取り組んでいるスタンフォード生まれの非営利団体VIAによって企画、運営されます。

2026年後期 新入留学生サポーター 大募集

／ こんな方におすすめ ／

ボランティア
精神旺盛

留学生と仲良
くなりたい

イベントを
企画したい

【概要】

応募資格：九州大学の在學生
(研究生・特別聴講學生等を除く)

活動期間：2026年9月中旬～12月31日

言語：日本語・英語(・中国語)

活動内容：留学生の渡日前後のサポート
および交流会の企画・運営

謝金：1時間あたり1,100円
(総支給額の上限24,200円)

応募締切：2026年7月31日(金)

【問い合わせ先】

人文社会科学系事務部学務課
人社系サポートセンター 山本

TEL: 092-802-6387

E-mail: jbksc@jimu.kyushu-u.ac.jp

▶ 詳細の確認および
応募はこちらから

